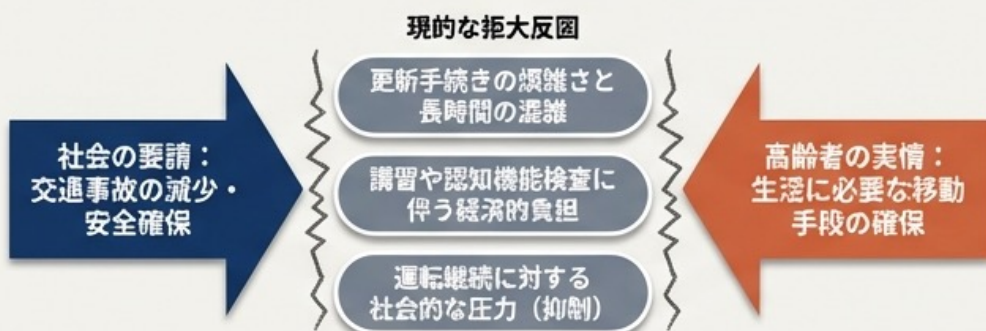


安全運転サポート車「限定免許」への円滑な移行アプローチ

～高齢者の生活維持（QoL）と社会の交通安全向上を両立する「インセンティブ型」移行モデルの提案～

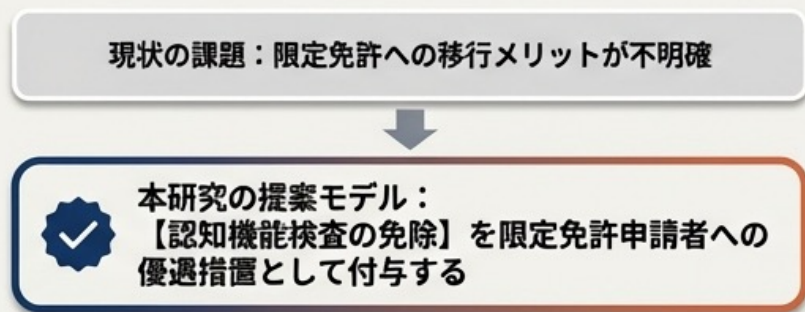
1. 背景とジレンマ：衝突する2つのニーズ

高齢運転者による事故が社会問題化する一方、移動手段を奪うことは生活の質の低下を招きます。現在の免許更環境は、高齢者にとって大きなハードルとなっています。



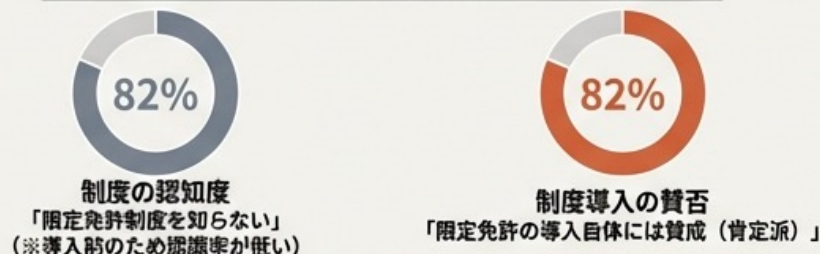
2. 移行への解決策：優遇措置による行動変容

安全を求める社会と、生活の足を残したい高齢者。双方の利益を両立させるため、新たな「限定免許」への自発的な移行を促すプロセスを提案します。



3. 調査結果：高齢ドライバーのリアルな意識

自動車学校の高齢者講習待機者28名（平均72.5歳）対象の質問紙調査



ターゲット層（75歳以上）の移行意向
提案した「検査免除」の移行案に対し、75歳未満の移行希望が22%に留まったのに対し、対象となる75歳以上では【60%が限定免許にする】と回答（反対は0%）。当事者からの高い賛同が得られる可能性が示唆された。

4. 結論と今後の展望：Win-Winの実現へ



総括：本提案の移行方法は、当事者と社会の双方に有益です。現状では制度の認知度は低いものの、「丁寧な制度説明」と「明確な負担軽減メリットの提示」があれば、高齢ドライバーからの十分な理解と支持を得られることが実証されました。